

国家資格「2級建築施工管理技術検定学科（前期）」

令和4年度 建築科3年生全員受検

**合格率 85.7%**

(令和4年度前期全国平均合格率約 50.7%)

令和3年度（前期＋後期）81.8%

令和2年度 45.5%

(全国平均合格率約 38%)

建築施工管理技術検定とは、合格すると建築工事現場にて監督や進行の管理を行うことができる「国家資格 施工管理技士」になります。建設業界では、建築士と同様に必要な資格です。

昨年度から、2級建築施工管理技術検定（第一次検定）の合格者は、「**施工管理技士補（国家資格）**」の資格を取得できるようになりました。今回の試験では、すでに建設会社等で働いている社会人も多く受検している中に、本校生徒たちも混じって受検しています。

合格した生徒たちは、9月16日からの就職活動において、資格取得欄に「**施工管理技士補（国家資格）**」を記入することができました。

## 国家資格「2級建築士受検にむけて」

令和2年度から、本校建築科卒業後すぐに二級建築士受検が可能になりました。

授業の中でも、二級建築士受検に焦点をあてた学習を行っています。そのため、建築施工管理技術検定を受検した3年生の生徒たちは、3月卒業後すぐに受検できる二級建築士の合格を目指して勉強しています。